

成果指標

施策の進捗状況を示す目安となる成果指標を次のとおり設定します。

基本施策	個別施策	指標名	基準値	目標値(R11)
1 帯広の明日を拓く力の育成	1 ふるさと教育の推進	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもの割合	(小学) 44.7% (中学) 39.1% 【H27～R1 平均】	(小学) 60%以上 (中学) 55%以上
	2 職業観の育成	人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合	(小学) 93.6% (中学) 94.6% 【H27～R1 平均】	100%
	3 情報教育の推進	授業でコンピュータなどの ICT を活用したいと思う子どもの割合	(小学) 87.4% (中学) 73.8% 【R1】	(小学) 90%以上 (中学) 80%以上
	4 国際理解教育の推進	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う子どもの割合	(小学) 66.3% (中学) 64.4% 【H29～R1 平均】	75%以上
	5 南商業高等学校における教育の推進	地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合	26.7% 【R1】	50%以上
2 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成	6 学びを生かす力の育成	授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合	(小学) 75.8% (中学) 79.8% 【H30～R1 平均】	85%以上
	7 豊かな人間性と創造性の育成	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合	(小学) 69.7% (中学) 71.1% 【H27～R1 平均】	85%以上
	8 健やかな体の育成	朝食を毎日食べている子どもの割合	(小学) 94.0% (中学) 93.6% 【H27～R1 平均】	100%
		1週間あたり 60分以上運動・スポーツをする子どもの割合	(小学) 88.5% (中学) 85.9% 【H26～H30 平均】	(小学) 95%以上 (中学) 90%以上
9 教員の資質・能力の向上	授業の内容がよくわかると思う子どもの割合	(小学) 82.6% (中学) 74.8% 【H27～R1 平均】	(小学) 90%以上 (中学) 80%以上	
3 地域とともに育む教育の推進	10 地域との連携・協働の推進	地域の行事に参加している子どもの割合	(小学) 58.2% (中学) 35.2% 【H27～R1 平均】	(小学) 70%以上 (中学) 50%以上
	11 家庭教育への支援	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合	(小学) 77.8% (中学) 76.6% 【H27～R1 平均】	85%以上
	12 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進	小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合	(小学) 19.2% (中学) 21.4% 【R1】	100%

指標の説明
子どもたちが自分たちの住む地域への愛着を持ち、地域活動への積極的な参加意識の育成につながるものを指標とする。指標は、全国学力・学習状況調査（文部科学省）における「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合で、目標値は過去5年間の最高値以上を目指す。
子どもたちが職業観の前提となる意識を持ち、職業への興味・関心、働くことへの理解促進につながるものを指標とする。指標は、全国学力・学習状況調査（文部科学省）における「人の役に立つ人間になりたいと思う」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合で、人の役に立ちたいという意識を全ての子どもたちが持つことを目指す。
子どもたちが ICT や情報通信機器に関心を持ち、理解を深めようとする意識を育成し、正しい活用につながるものを指標とする。指標は、全国学力・学習状況調査（文部科学省）における「授業でもっとコンピュータなどの ICT を活用したいと思いますか」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合で、目標値は令和元年度の値以上を目指す。
子どもたちの外国に対する興味を高め、外国の人と交流する上で必要な能力の向上につながるものを指標とする。指標は、全国学力・学習状況調査（文部科学省）における「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合で、目標値は過去3年間の最高値以上を目指す。
生徒たちが自分たちの住む地域への愛着を持ち、地域貢献活動への積極的な参加につながるものを指標とする。指標は、「過去1年間で、自ら企画・運営するなど、主体的に関わりながら、地域に貢献する活動を行った」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合で、目標値は生徒の半数にあたる50%以上を目指す。
子どもたちの意欲的な学びや課題解決に粘り強く取り組む行動の育成につながるものを指標とする。指標は、全国学力・学習状況調査（文部科学省）における「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合で、目標値は過去2年間の最高値以上を目指す。
子どもたちが互いの価値観を尊重し多様な人と協力して課題の解決に当ろうとする姿勢の育成につながるものを指標とする。指標は、全国学力・学習状況調査（文部科学省）における「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合で、目標値は過去5年間の最高値以上を目指す。
子どもたちが健康に生活を送るため、規則正しい食習慣につながるものを指標とする。指標は、全国学力・学習状況調査（文部科学省）における「朝食を毎日食べている」という質問に対し、「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合で、全ての子どもが規則正しい食生活を送ることを目指す。
子どもたちが運動の習慣を身に付け、心身の健康につながるものを指標とする。指標は、全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）における「学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか」という質問に対し、60分以上と回答した割合で、目標値は過去5年間の最高値以上を目指す。
教員の指導力の向上につなげるため、授業に対する子どもたちの理解度合いを指標とする。指標は、全国学力・学習状況調査（文部科学省）における「授業の内容はよく分かる」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合で、目標値は過去5年間の最高値以上を目指す。
子どもたちが地域の人たちと関わる機会を増やすことにより、地域連携の充実につながるものを指標とする。指標は、全国学力・学習状況調査（文部科学省）における「今住んでいる地域の行事に参加している」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合で、目標値は過去5年間の最高値以上を目指す。
家庭教育の機会の充実につながるものを指標とする。指標は、全国学力・学習状況調査（文部科学省）における「家の人（兄弟姉妹は含みません。）と学校での出来事について話をする」という質問に対し、「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合で、目標値は過去5年間の最高値以上を目指す。
小・中学校において、義務教育期間を通じた連続性・系統性のある指導につながるものを指標とする。指標は、全国学力・学習状況調査（文部科学省）における「前年度までに、近隣等の小（中）学校と教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取り組みを行った」という質問に対し、「よく行った」と回答した割合で、市内全ての小・中学校において小中一貫教育を推進する。

基本施策	個別施策	指標名	基準値	目標値(R11)
4 安全・安心な教育環境の整備	1 3 誰もが安心して学べる教育の推進	「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合	(小学) 96.2% (中学) 94.2% 【H27～R1 平均】	100%
	1 4 安全で充実した教育環境の整備	長寿命化改修の実施校数	0校 【H30】	9校
5 自ら学びともに支える生涯学習の推進	1 5 学習活動の促進	講座の満足度	95.5% 【R1】	100%
	1 6 学習を通じたまちづくり	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合	26.3% 【R1】	31%以上
	1 7 社会教育施設の整備・管理運営	施設利用者の満足度	96.5% 【R1】	100%
6 人が輝く文化芸術活動の推進	1 8 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働	直近1年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合	64.7% 【R1】	65%以上
	1 9 文化資源の継承・活用	市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数	2,161件 【R1】	2,269件以上
	2 0 文化施設の整備・管理運営	施設利用者の満足度	83% 【H26～H30 平均】	88%以上
7 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進	2 1 多様なスポーツ活動の促進	市内小学生数における帯広市スポーツ少年団登録者数の割合	21% 【H27～R1 平均】	22%以上
	2 2 スポーツによる活力のあるまちづくり	1年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合	82.4% 【R1】	87%以上
	2 3 スポーツ施設の整備・管理運営	施設利用者の満足度	77.3% 【R1】	82%以上

指標の説明
<p>子どもたちが安心して学ぶことのできる環境づくりにつながるものを指標とする。指標は、全国学力・学習状況調査（文部科学省）における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合で、いじめは絶対に許されないという意識を全ての子どもたちが持つことを目指す。</p>
<p>施設の安全性と機能性を確保し、良好な教育環境の維持につながるものを指標とする。指標は、長寿命化改修工事が完了した学校数とし、毎年度の予算編成と合わせて検討を進めながら「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づく改修を目指す。</p>
<p>市民の生涯にわたる学習意欲の向上につながるものを指標とする。指標は、帯広市教育委員会が主催または共催した講座の満足度を調査するアンケートにおいて、「満足」「おおむね満足」と回答した割合で、目標値は講座受講者全てが満足する講座の実施を目指す。</p>
<p>学習の成果を生かした市民の自主的な活動の促進につながるものを指標とする。指標は、帯広市教育委員会が主催または共催した講座受講者へのアンケートにおいて、「地域や社会での活動に生かしたい」と回答した割合で、目標値は基準値の5%以上を目指す。</p>
<p>市民の積極的な社会教育施設の活用につながるものを指標とする。指標は、社会教育施設の満足度を調査するアンケートにおいて、「満足」「おおむね満足」と回答した割合で、目標値は社会教育施設利用者全てが満足する施設運営を目指す。</p>
<p>市民の文化芸術活動の促進につながるものを指標とする。指標は、市民アンケートを行い、文化芸術に関する鑑賞活動を行った市民の割合を調査し、目標値は、全国・全道において文化芸術活動が減少傾向であることから、現状以上を目指す。</p>
<p>市の文化資源に対する理解が促進され、ふるさとへの誇りや愛着の醸成につながるものを指標とする。指標は、市ホームページ内の文化資源紹介のアクセス件数で、目標値は基準値の5%以上を目指す。</p>
<p>市民の積極的な文化施設の活用につながるものを指標とする。指標は、文化施設の満足度を調査するアンケートにおいて、「満足」「おおむね満足」と回答した割合で、目標値は基準値の5%以上を目指す。</p>
<p>子どもや保護者のスポーツに親しむ機会の充実につながるものを指標とする。指標は、市内小学生のうち、市スポーツ少年団に登録している児童の割合で、目標値は過去5年間の最高値である22%以上を目指す。</p>
<p>スポーツを通じたまちの賑わいづくりにつながるものを指標とする。指標は、市民アンケートを行い、参加、観戦、指導、大会運営、ボランティアなどを通じてスポーツに関わった市民の割合を調査し、目標値は基準値の5%以上を目指す。</p>
<p>市民の積極的なスポーツ施設の活用につながるものを指標とする。指標は、スポーツ施設の満足度を調査するアンケートにおいて、「満足」「おおむね満足」と回答した割合で、目標値は基準値の5%以上を目指す。</p>